

# 『茅原啓佑の×恋』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査

## ■アンケートの詳細

調査目的	『茅原啓佑の×恋』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『茅原啓佑の×恋』を読んだことのある20代～50代の男女16名
調査期間	2025年12月15日～2025年12月16日 2025年12月31日～2026年1月1日 2026年2月9日～2026年2月10日 2026年3月28日～2026年3月29日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	ランサーズ
データ使用サイト	<a href="https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/chih-arakeisukenobatukoi/">https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/chih-arakeisukenobatukoi/</a>

## ■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『茅原啓佑の×恋』を実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

Q3: 『茅原啓佑の×恋』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	0人
30代女性	1人
40代男性	8人
40代女性	6人
50代男性	0人
50代女性	1人

Q2:『茅原啓佑の×恋』を実際に読んだ評価を5段階で教えて下さい。

～～作品の5段階評価について～～

- ★★★★★(とても面白かった):絵・物語・キャラに魅力を感じた。続きがあればぜひ読みたい
- ★★★★(面白かった):漫画の内容で面白かったり、満足できる要素が一つでもあった。
- ★★★(普通):面白いとも面白くないとも言えない。
- ★★(面白くなかった):あまり好きではない描写や要素があった。
- ★(全く面白くなかった):読んでいて不快・退屈だった。

★★★★★	7人
★★★★	9人
★★★	0人
★★	0人
★	0人

Q3:『茅原啓佑の×恋』を実際に読んだ感想を教えてください。

人生全部うまく行ってる系の男子。ひたすらモテまくりでオンナなんてどうにでもなる！という立場なのに、気になって仕方ない里菜ちゃん存在。こういう遊び人系の男子が本気になる姿ってなぜか魅力的に見えるんですよえ。激しいプレイも最後にあって、盛り上がり半端ないです。ラストに最後の恋って書かれていたのがキュンと来ました。

失恋の痛みは女遊びで癒すともいうように、学生の頃から女性に困らない生活を送っていた茅原が元カノと再会して恋心が再燃しちゃうっていうストーリー。しかしさすが若い頃からそういう生活をしていただけあって、いろいろとテクニシャンですわー。ちょっとした仕草も手慣れてて、みていておおとなっちゃうほどいいです。そういうシーンも盛りだくさん上に、本命の彼女とのキュンキュンするやりとりも盛り込まれていて、全体的にとっても満足度が高い作品となっています。

共感できなさすぎる主人公ですが、ここまで振り切れていると逆に面白い。女には困らない生活を続けてきたのに、唯一深い関係を持てなかった女性にこだわってしまう...いいですね。そこに人間味を感じます。中盤からラストにかけては怒涛の絡み合い。想いをすべてぶつけ、存分にしちゃいます。お互い気持ち良さそうにしているのも最高すぎ。

もともと『仕事ができない榎くんは夜だけ有能』を読んでいて、作品の雰囲気や世界観が好きでした。今回も絵柄が好みで、最初から最後まで安心して読むことができました。特に、サブキャラだった少しチャライ男性の純愛スピンオフが描かれていたのが嬉しかったです。軽そうに見えていた分、真剣な想いが伝わってきて、より感情移入できました。何より、きちんとハッピーエンドで終わってくれたのが本当に良かったです。

いい意味で強めのギャップあり。イケメン無敵感だしまくりに、正直最初はかなり感じ悪いんですが、それがいい意味で変化していきます。ちゃんと性格の設定が守られているうえに純愛展開までぶっ込んでくるのでそれは不意打ちでした。ファンが増えそうです。もちろん実用性はあるのでただ大人のシーンを見たい方にもおすすめでした。

榎くんシリーズ好きでした。なのでまさかスピンオフ作品が出てくるとは。めちゃうれしいご褒美です。ロン毛先輩、やっぱり最高。誰にでも過去はある。榎くんシリーズだと最悪野郎ですが、そんな彼でもそんな頃があったんですね。漫画作品でほろって結構珍しい。みんなつるつるのお肌ですからね。それはそれでいいです。

けっこうストーリー的にも長い。ダブルでお得な作品です。そういうシーンは少な目ですが、丁寧に描かれてるからこそ入り込みやすい。女性の立場としてはむしろこういう方がよかったですりするかもしれない。

榊くんシリーズでサブキャラながら存在感抜群だった彼。まさか主演に抜擢されるとは。そしてさすが、学生時代からもう彼ですね。ただまだまだ青いところがあって、そういうところもいとおいしい。そして、ホクロという小道具がうまく使われていて、そういったところもさすがだなと思いました。更に続いてほしい。

チャラ男なのに、しかもロン毛。ロン毛ってあまり好きじゃないんですよね。なのですが彼はいい。なんか憎めないキャラです。とにかく素直だからいいんですよね。自分の欲望にも素直すぎるんです。スピンオフで主役となって正解です。更に続きも読んでみたいです。

奔放なパートと、純愛の対比。もちろん狙って描いているわけで、流れの華麗さに思わず見惚れるほどです。主人公の魅力も十分で、これはモテるわ...と同性でも思うほど。若干自分に酔い過ぎる気もしますが、ここまでのレベルなら納得です。それを簡単にいなすヒロインの純愛。本当の愛とは何かを知ることができる作品です。

茅原啓佑のキャラが本当にいい。男から見ても憧れるかっこよさ。最近って長髪イケメンが少なくなったような気がするのだから新鮮味もありました。男女どちらから見ても魅力的なラブシーンって意外と難しいのですが、うまく描いています。ふたりの感情のピークがピッタリ合っていてかなりお似合いのカップルに見えました。

最強オトコと思っていたロン毛先輩でしたけれど、実はかつてのオンナをずっとずっと引きずっていたとは。なんとも純情な性格が浮き彫りとなりました。そしてさらに好きになっちゃいました。こんな風に何年も会いを貫いているってすばらしいことですね。こんなに愛されてうらやますぎる。

このお話単独でも十分楽しい内容で、イケメン無双というだけではない奥深さを感じられる作品でした。結局は元カノにずっと後ろ髪を引かれている女々しい男なんです。それがカッコ悪く映らないのは描き方のうまさもあるんでしょうね。ラストシーンまでの怒涛の展開も見どころだし、前半の無双シーンも含めてキャラクターが魅力的です。

逆に最近見ないなあという、全能感溢れすぎな男。もう神のような(描写はまさにそれ)、自分に自信が満ち溢れている感じです。でも単なる勘違いヤローとして終わっているわけではなく、元恋人のことをずっと引きずっている一面も。主人公がアラサーっていうのがいいですね。酸いも甘いも噛み分け、本当の愛を知って感じて引き込まれました。

最初はちょっと引き気味、後半はまあまああって感じでした。このキャラクターが好きじゃないと受け入れてあげられないと全然上滑りするお話だと思います。一方で、女子はめちゃくちゃかわいい。魅力もあるし、惚れまくりなのも無理はないという感じ。もう少しオチはどんでん返しのなものが欲しかったかな。予想の範囲なのが残念。

誰にだって純情だった過去はあるってことですね。まさかこんなだったとは、予想外でした。そして彼の場合、過去を過去として終わらせていなかったってこと。必死で走っている姿はかっこ悪いけどかっこよかったです。忘れようとするんな女性を巡っていったからこそ、いまの彼女を喜ばせてあげられてるってことなんですよ。

## 漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス